

# 野生植物研究所だより

## ● ごあいさつ ●

はじめまして。野生植物研究所 です。

さる4月18日・・・草木が芽吹き、呼吸を始める季節に、わたしたち『野生植物研究所』は誕生しました。当研究所所長「長靴先生」こと 高橋和吉 が、“種”をまきました。これから、地域の皆さまと“共に育っていききたい”と願っております。

春夏秋冬、四季折々の地域の植物の情報や、地域の皆さまとの交流、研究所の取り組みなど・・・月二回のペースで、本紙『野生植物研究所だより』を発行し地域の皆さまに、植物を通して“自然のすばらしさ”をお伝えしてまいりたいと存じます。



研究所の庭に咲く、サクラソウです。  
(5月22日撮影)

### 【スタッフ紹介】

所長 高橋和吉

今年3月、古川市立古川第二小学校校長を最後に定年退職しました。現在、古川市民ギャラリー緒絶の館館長、宮城植物の会副会長、古川植物愛好会会長、東北植物の会幹事、吉岡植物愛好会顧問、日本植物分類学会会員、日本シダの会会員、日本生態学会会員、すげの会会員、岩手植物の会会員、東日本野生ランの会会員、千葉えびね会会員、仙台キノコ同好会会員、日本菌学会会員。

所員 南條美江 雑草と呼ばれる草花が好きです。

高橋昌子 アジサイの花が好きです。

## ● 野生植物研究所は、こんなことを目指しています ●

### 地域の自然のすばらしさを伝える

野外での身近に見られる植物の観察会や草木遊び、押し花づくり等を通し、地域の自然のすばらしさを体験していただきたいと考えております。

### 自然保護活動や環境教育、自然の恵みの大切さを伝える

自然保護活動や環境教育等の大切さ、地域の山菜・薬草・きのこの等の活用について知っていただくために講演会や書籍の発行を行ってまいります。

### 野生植物の調査研究、自然の豊かさを取り戻すための活動を行う

宮城県の野生植物の植生・植相の調査研究を進めるとともに、自然の豊かさを取り戻すための活動も行います。

植物との関わりを通して、皆さまに喜んでいただける“地域づくり”に努めていききたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いたします。